

伝統的居住文化再生・利活用ワークショップ(チェンマイ)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年02月24日 ～2024年03月02日	タイ	メージョー大学 チェンマイ大学	<ul style="list-style-type: none"> ・建築学科、環境システム学科 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生、 	(芝浦工業大学) 学生13名、学生バイト2名、 教員1名 (メージョー大学) 学生9名、教員1名 (チェンマイ大学) 学生4名、教員1名	清水 郁郎(建築学科)



改修作業風景

タイ北部で19世紀まで続いたランナータイ王国の王都チェンマイで二つのワークショップを実施した。①王国の領土形成と漆器の朝貢のため200年以上前に旧ビルマのシャン州から連れてこられたクーン族の農村で、古民家を改修して開設したエコミュージアムが近年の洪水で大きな被害を受けたため、その再整備、修復、展示再生を村に宿泊しながら実施した。寒季から暑季に移行する厳しい気候条件のもと、学生たちは現地の大学生とよく協働し、3日間という短い日程で、屋根の修復、外壁塗装、展示や什器の再生、屋内整備等を行い、ミュージアムを見事に再生させることができた。②チェンマイ旧市街の漆器工房地区では、フィールドサーヴェイに基づいて課題や解決すべき問題を発見し、それを解消しながらコミュニティの活性化に資する設計提案を行なった。こちらも厳しい気候の中、現地大学生と協働して力作のプロポーザルを作成し、チェンマイ大学建築学部で最終成果発表会を開催した。ゲストクリティックも参加するなど、活発な意見交換が行われた。他に、チェンマイ成立の歴史と伝統的建築様式を知るため文化芸術館、ランナー建築センター、歴史的寺院、ランナー伝統家屋博物館を訪問し、研修を行なった。



屋根の修復



改修した民家の前で記念撮影



漆器工房でのインタビュー



各チームでの作業風景



チェンマイ大学での成果報告



プログラムの最後に記念撮影